

令和6年度使用小学校教科用図書  
調査研究結果報告書

# 道 徳



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

# 小 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	道徳
-------	----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新編 新しい道徳
教育出版(株)	17	教 出	小学道徳 はばたこう明日へ
光村図書出版(株)	38	光 村	道徳 きみがいちばんひかるとき
日本文教出版(株)	116	日 文	小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート
(株)光文書院	208	光 文	小学道徳 ゆたかな心
(株)Gakken	224	学 研	新版 みんなの道徳

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	2	東書	新編 新しい道徳

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>・内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応している。</li> <li>・学習指導要領に示す目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>・言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>・児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の分量は、授業時数から見て適切である。</li> <li>・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>・内容項目に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文、問題、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。</li> <li>・再生紙、植物油インキを使用。強力な接着剤を用いて製本。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を見つめることを楽しむ低学年、共感的に道徳的価値の理解を深める中学年、集団や社会の課題と向き合い自分の生き方について考える高学年と児童の発達段階に応じた構成になっている。1時間の学習の流れは、「学習へのなげかけ」「発問例」「つながる・広がる」の教材構成となっており、道徳性を養うために、道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる内容である。</li> <li>・各教科等で行う道徳教育を補ったり、深めたり、統合したりすることのできる内容になっている。道徳科の学習で扱う「教材」を要として、他教科等の学習活動や、地域や家庭での活動を意識したコラム「つながる・広がる」を有機的に組み合わせ、現代的な課題に取り組む「5つ(安心・安全、情報モラル、いじめ防止、生命尊重、自己肯定感)のユニット」を編成している。</li> <li>・道徳的価値について自分との関わりで考え、感じたことをまとめ、発表し合ったり、話し合いなどによる異なる感じ方、考え方に接し、協働的に議論したりできる内容になっている。すべての教材に、QRコンテンツが用意されており、個別最適な学びを支援したり、協働的な学びを広げたりすることができる。また、巻末に設けた「考えるためのツール」のコードから、心のメーターが利用でき、自分の考えをメーターで可視化することにより、友達の考えと比較し、自分の心を深く見つめることができるようになっている。</li> </ul>

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	17	教出	小学道徳 はばたこう明日へ

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>・内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応している。</li> <li>・学習指導要領に示す目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>・言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>・児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の分量は、授業時数から見て適切である。</li> <li>・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>・内容項目に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文、問題、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。</li> <li>・再生紙、植物油インキを使用。製本にはあじろ綴じを用いている。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値について自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくことを見通しながら、実現するための問題を見付け、どうしてそのような問題が生まれるのかを調べたり、他者の感じ方や考え方を確かめたりしながら課題解決へ向けて話し合うことができるような内容になっている。考え、議論する道徳授業が実現できるように、授業の「展開」段階で活用できる発問を二つ（場面発問とテーマ発問）設けている。その時間のねらいとする道徳的価値に深く関わる中心的発問は、「特に考えてほしいこと」として目立たせている。また、問題解決的な学習ができる「学びの手引き」や「コラム」が用意されている。</li> <li>・教科書の巻末に、学習をふり返ることができるシートがある。児童が自分の成長を感じることができるとともに、提出できる形式になっているので、評価資料としても活用できる。</li> <li>・学習に役立つ情報を「まなびリンク」としてウェブサイトに掲載しており、これからの課題や目標を見付けることができる。</li> <li>・体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めることができるような内容になっている。カリキュラムマネジメントの工夫として、他教科や特別活動、学校行事、年中行事などとの関連を図った学習計画が立てやすくなっている。学年の教材が「本教材」30本＋「補充教材」5本構成となっており、「補充教材」に替えて地域教材や学校独自の教材を使った学習に充てることができる。</li> </ul>	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	38	光村	道徳 きみがいちばんひかるとき

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>・内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適切している。</li> <li>・学習指導要領に示す目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>・言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>・児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の分量は、授業時数から見て適切である。</li> <li>・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>・内容項目に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文、問題、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。</li> <li>・B5版より横幅を10ミリ広くし持ち運びやすいようにしている。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深い学びへと誘うために、さまざまな学習活動を提案し、豊かな学びにつなげられるように工夫している。「役割演技」「付箋やカードを使った交流」「話し合いで役立つ言葉の紹介」「思考ツールの活用」等により、道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる内容となっている。</li> <li>・巻末の折り込みには、一言感想を書く活動を通して1時間ごとの学びを振り返るシートがある。発達段階にも応じており、1年間の学びが1枚で見渡せ、児童や教師、保護者が児童の成長や変化を確認することができる。</li> <li>・身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲と態度を育成することができる内容となっている。二次元コードが付してある教材には、授業の中で活用できる動画などの資料や、臨場感ある朗読など、児童が興味、関心をもって視聴できるコンテンツが用意されている。また、家庭との連携の観点から、新しい生活様式や防災、SDGsに関わることなど、他教科や日常生活にも関連するコンテンツもある。</li> <li>・道徳的価値の理解を基に、自己を見つめられるよう、現代的な課題として重要とされる「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の4つのテーマ(第3学年以上、第1・2学年は2つ)を取り上げている。コラムでは、課題を自分のこととして受け止め、自己の生き方についての考えを深められるようになっている。</li> </ul>	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	116	日文	小学道徳 生きる力 道徳ノート

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>・内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応している。</li> <li>・学習指導要領に示す目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>・言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>・児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の分量は、授業時数から見て適切である。</li> <li>・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>・内容項目に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文、問題、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。</li> <li>・再生紙、植物油インキを使用。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ道徳的価値に照らして自分の生活や考えを振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような内容になっている。「個性の伸長」「感謝」の項目を重視し、諸外国と比較して低いとされる児童の自己肯定感を養い、まわりの人に支えられて自分が存在していることに気づくことで自分もまわりの人も大切に思える心を育むことができる。</li> <li>・道徳性を養うために、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる内容になっている。児童の道徳的価値の理解をよりいっそう深めるための手立てとして、「ぐっと深める」を新設し、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」などの手法を用いた効果的な展開のようすを写真で分かりやすく示している。</li> <li>・コラム「心のベンチ」を各学年5箇所配置し、学習した道徳的価値について、児童の思考がより広く深く広がる内容となっている。道徳科以外の教育活動とも関連づけている。</li> <li>・道徳ノートは、特定の問いを設けず自由に書き込めるようになっている。二次元コードから立ち上がる「ワークシートデータ」は、授業支援システムなどを介して、教師が幅広く活用できる。</li> </ul>

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	208	光文	小学道徳 ゆたかな心

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>・内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応している。</li> <li>・学習指導要領に示す目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>・言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>・児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の分量は、授業時数から見て適切である。</li> <li>・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>・内容項目に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文、問題、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。</li> <li>・植物油インキを使用。製本には針金を使用していない。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や学校生活など、児童が自分のこととして考えやすい題材や、長く読み継がれてきた名作、人物の苦悩や努力など生き方から考える事実教材など、人間としての生き方に迫ることができる題材を選定している。また、漫画形式や写真、一枚絵から考える教材など、多様な教材形式を取り入れている。学校や地域の実態などに応じて弾力的に取り扱えるように、第1学年は6本、第2学年から第6学年は5本の選択教材がある。協働的に議論できる内容になっている。</li> <li>・問いをもち、主体的に考えられる学習となるように、冒頭に「導入」、最後に「かんがえよう(展開)」「まとめよう(終末)」「ひろげよう(発展)」を設置している。思考ツールを提示し、自分の考えを視覚化し、学習した内容をまとめ、自信をもって発言できるようにしている。巻末に自己評価シートも用意され、自らの成長が実感できる。</li> <li>・急速な社会の変化の中で、一人ひとりの児童が自分のよさや可能性を認識し、自己肯定感を高めることの重要性を鑑み、全学年にレジリエンスコラムを設けている。よりよい人間関係の構築につながるようになっている。</li> <li>・授業の導入や展開に活用できるオリジナル写真やインタビュー動画、教材に関連する動画や写真、ウェブサイトが、二次元コードを通して見られる。学習内容に広がりをもたせ、道徳的価値の理解が深まるようになっている。</li> </ul>

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
道徳	224	学研	新版 みんなの道徳

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>・内容の程度は、その学年の児童の発達段階に適応している。</li> <li>・学習指導要領に示す目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>・言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実について配慮されている。</li> <li>・児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されている。</li> </ul>
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の分量は、授業時数から見て適切である。</li> <li>・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。</li> <li>・内容項目に偏りがなく調和がとれている。</li> </ul>
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文、問題、挿絵、写真、図などは、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。</li> </ul>
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。</li> <li>・環境に配慮した紙、インキ、PURのりが使用されている。</li> </ul>
教科ごとの選定の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的・多角的に思考を広げることができる構成となっている。道徳的価値について学びながら考えを深める「深めよう」や、教材での学習を基に、自分につなげて考えたり、体験したり、話題を広げたりできる「心のパスポート」のページを設けている。また、4つの視点（自分、相手、社会、命・自然）ごとに分かりやすく色分けしたマークを使用して見通しをもって学習に取り組めるようにしている。</li> <li>・最重点テーマを「いのち」としている。内容項目「生命の尊さ」は、すべての学年で3教材用意している。生命の尊さや人権を重んじ、多様性を受け入れながら、他者と共によりよく生きることについて考えることにより、自己の生き方について考えを深めることができるようになっている。</li> <li>・授業への導入がしやすいタイトル部への工夫がなされている。読みたくなるキーフレーズで、児童を教材へスムーズに導くことができる。関連する学びのテーマを示すマークを配置し、現代的課題につながる授業を提案している。</li> <li>・道徳的価値について自分との関わりで考え、発表したり、協働的に議論したりすることができる。デジタルコンテンツの特長を生かして、QRコードを使ってインターネット上の補助教材にアクセスできる。教材に関連する写真や動画、音声などから学びを広げ、深めていくことができる内容になっている。</li> </ul>